

初めまして。福岡市博多保健所の古賀と申します。行政医として無事3年目を迎えることができました。常に何かしらの業務に追われ、On-the-Job Trainingの日々研修させていたただいております。福岡市には7つの保健所がありますが、その中でも博多保健所は、感染症事案や結核集団感染が最も多く、経験を積むにはうってつけの部署となっております。馬に踏まれてもたくましく育つ雑草のような根性も行政医にとって重要なのではないかと最近思っております。

はじめに

本誌5月号掲載の福岡県田川保健福祉事務所の木村竜太先生よりバトンをお預かりしました。原稿依頼を受け、初めてこういったコーナーがあることを知りました。日々の業務に追われ、目の前のことしか見えておりませんでした。高見志を持って、強い競走馬(行政医 ※本誌1月号26頁参照)を目指す必要があると顧みております。行政で働き始めて3年目を迎えた今、感じていることを自由

に、率直に述べさせていただきます(小学生の頃から作文が大の苦手で、見苦しい文章かもしれないが、あらかじめご了承ください)。

行政医になった経緯

お恥ずかしい話ですが、私はそもそも医師になりたいという理由も、ならないといけないという使命感も持っていなかった類いの人間です。医学部に入学するも、キャンパスライフというものになじめず、やる気と元気に満ちあふれた大学生とのギャップを感じたこと

だけ覚えていきます。

日銭を稼ぐため、また社会勉強のために、塾講師や家庭教師だけでなく、引越業者やラーメン屋、土木、派遣会社の軽作業(軽い作業ではありません!)などの幅広い分野のアルバイトを経験しました。大学の友人よりもアルバイト仲間の方が話しやすく、「医学生のくせに雑草魂(雑草魂)を持つているな」と言われたりしました。先輩に食事をおごってもらったり、稼いだお金でバイクを買ったりと、今思えば楽しい青春時代だったと思います。

大学時代は、勉強は嫌いではなかったのですが、ずっと席に座っていることが苦痛で、授業にはほとんど出席せず、試験直前になると友人の対策ノートをコピーし、徹夜で知識を詰め込み、試験を乗り越えてきました。卒業試験や医師国家試験はもう少し計画的に勉

優秀かつ勤勉な方ではありませんが、膨大な業務量に対応困難となつていたので、係長としてサポート役に徹しました。業務の優先順位の明確化、日々の円滑なコミュニケーション、係内における業務分担といった組織マネジメントの重要性を強く感じました。上司である所長や課長も部下の意見を親身に聞いてくださったり、必要に応じて指導をいただくこともでき、多忙な部署ではありましたが、とても働きやすい環境でした。

行政医3年目を迎えて

「つらくても3年は継続する」という自分で決めた目標はクリアする見込みですが、行政医としてのアイデンティティーの確立や、ワークライフの継続について決断する年だと考えています。行政医になったことを後悔はしていません。臨床の現場では学ぶことができなかつたであろうこと(失敗事例も含めて)も経験できました。その一方で、これからの目標、なりたいロールモデルを明確にしなければならぬと感じております。保健所業務のうち、ごく一部の業

務しか経験していないため、これから他分野への理解を深めたその先に、行政医というアイデンティティーが見つけられるものかも知れません。いつか花咲くことを夢見て、行政医として精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻(むちまた)のほどよろしくお願いいたします。

行政医1年目

行政に入る前は、公務員に対

してある種の偏見を持っていましたが、配属された博多保健所では、職務を適切かつ能率的にこなしつつ、家庭も大切にしている職員がほとんどでした。行政に入った最初の1年間は医師としてではなく、まずは職場になじめるように努めました。どんなにつらくても3年は続けようとも思いました。

行政医2年目

2年目は人事異動直後から感染症・結核事案が絶えず発生した年でした。担当保健師と私が中心となつて対応に当たりましたが、業務量の急増に加え、関係機関との連携において対応困難となる事案が数多くありました。土日夜間も頻繁にコールが鳴り、勤務医だった頃を思い出しました。臨床の現場と大きく異なつていた点は、何を行うにしても組織として動かなければならぬことでした。これまで、個人戦のスポーツや一人で楽しむ趣味が好きなタイプでしたので、行政に入ったことで、社会人として組織の役割・重要性を初めて学ぶことができました。

また、頻発する感染症・結核事案を通じて、保健所内における感染症・結核対応力の強化が急務と考え、あれやこれや愚考し、組織強化に努めましたが、すぐに成果が出るわけもなく、下準備の重要性を感じました。

感染症担当者(保健師1名)や結核担当者(保健師1名)はとて

「期待の若手シリーズ 私にも言わせて!」は、
全国保健所長会ホームページに
バックナンバーが掲載されています。

全国保健所長会 月刊公衆衛生情報

で検索してください

http://www.phcd.jp/update/archive_02_j_koushueisei_watashi.html